

## サザエさん



わたしは九州の福岡市に住んでいます。わたしの家のすぐ近くに西南学院大学があります。西南学院大学はキリスト教の教団が経営する大学です。その大学の図書館の前にこんな像があります。マンガの主人公のサザエさん（右）と、そのマンガの作者（左）が仲良くおしゃべりしている像です。

図書館の前の通りは、サザエさん通りと呼ばれています。サザエさんの作者の長谷川町子さんが、この通りの近くに住んでいたのです。サザエさん通りは東京にもあります。東京に引っ越した長谷川町子さんの



家の近所の通りです。マンガの主人公の名前が通りの名前になっているのは、日本ではほかにはないと思います★。世界でも珍しいのではないのでしょうか。

マンガ「サザエさん」は、1946年に福岡の新聞のマンガとして始まりました。それから東京の新聞のマンガになり、1974年に終わるまで約6500回もつづきま

した。1969年<sup>ねん</sup>にはテレビのアニメ「サザエさん」が<sup>はじ</sup>始まり、2021年<sup>ねんげんざい</sup>現在でもまだつづいています。世界<sup>せ かい</sup>で一番<sup>いちばんなが</sup>長くつづいているアニメ番組<sup>ばんぐみ</sup>として、ギネスの世界<sup>せ かい</sup>記録<sup>きろく</sup>になっています。

「サザエさん」は中<sup>ちゅうりゅう</sup>流<sup>りゅう</sup>のサラリーマン家庭<sup>かてい</sup>の主婦<sup>しゅふ</sup>です。自分の<sup>じぶん</sup>両親<sup>りょうしん</sup>の波平<sup>なみへい</sup>さん、フネさんと同居<sup>どうきょ</sup>しているので、弟<sup>おとうと</sup>のカツオや妹<sup>いもうと</sup>のワカメもいっしょに住<sup>す</sup>んでいます。サザエさんと夫<sup>おっと</sup>のマスオさんの子<sup>こ</sup>どもはタラオちゃんです。登<sup>とう</sup>場<sup>じょう</sup>人物<sup>じんぶつ</sup>の名前<sup>なまえ</sup>がみんな「海<sup>うみ</sup>」につながっているのが<sup>わ</sup>分かりましたか？ サザエ（貝<sup>かい</sup>の名前<sup>なまえ</sup>）、波<sup>なみ</sup>（海<sup>うみ</sup>の波<sup>なみ</sup>）平<sup>へい</sup>、フネ（船<sup>ふね</sup>）、カツオ（魚<sup>さかな</sup>の名前<sup>なまえ</sup>）、ワカメ（海草<sup>かいそう</sup>の名前<sup>なまえ</sup>）、マス（魚<sup>さかな</sup>の名前<sup>なまえ</sup>）オ、タラ（魚<sup>さかな</sup>の名前<sup>なまえ</sup>）オというわけ<sup>さくしゃ</sup>です。作者<sup>さくしゃ</sup>のは<sup>は</sup>せがわまちこ長谷川町子<sup>いへ かいがん</sup>さんの家<sup>いえ</sup>が海岸<sup>かいがん</sup>にあったからでしょうね。

「サザエさん」では、こうした登<sup>とうじょうじんぶつ</sup>場<sup>じょう</sup>人物<sup>じんぶつ</sup>の日常<sup>にちじょう</sup>生活<sup>せいかつ</sup>が<sup>えが</sup>描かれます。マンガ「サザエさん」は、日本<sup>にほん</sup>の敗戦<sup>はいせん</sup>（1945年<sup>ねん</sup>）直<sup>ちよく</sup>後<sup>ご</sup>から、1960年代<sup>ねんだい</sup>の経済<sup>けいざい</sup>の高度<sup>こうど</sup>成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>期<sup>き</sup>を<sup>へ</sup>経<sup>ねん</sup>た 1974年<sup>ねん</sup>まで、毎日<sup>まいにち</sup>少<sup>すこ</sup>しづつその時代<sup>じだい</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>風景<sup>ふうけい</sup>を<sup>えが</sup>描いています。そのため<sup>しやかいがくしゃ</sup>、社会<sup>ひ</sup>学者<sup>ぐちけい</sup>の樋口<sup>ひぐち</sup>恵子<sup>けいこ</sup>さんは、「マンガのサザエさんは、日本<sup>にほん</sup>の戦<sup>せん</sup>後<sup>ご</sup>の社会<sup>しやかい</sup>史<sup>し</sup>の<sup>き</sup>重<sup>ちゆう</sup>な<sup>しりやう</sup>資<sup>たか</sup>料<sup>ひやう</sup>です」と高<sup>たか</sup>く<sup>ひやう</sup>評<sup>か</sup>価<sup>か</sup>しています。

マンガやアニメで、どうしてこんなに「サザエさん一家<sup>いっか</sup>」は日本<sup>にほん</sup>の人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>に愛<sup>あい</sup>されて<sup>ら</sup>いるのでしょうか？ みなさんもアニメ「サザエさん」やマンガ「サザエさん」を<sup>み</sup>見<sup>かんが</sup>て、考<sup>かんが</sup>えてみませんか。

★「波平通り<sup>なみへいどお</sup>」という商店街<sup>しょうてんがい</sup>が大阪<sup>おおさか</sup>市<sup>し</sup>にある<sup>あ</sup>るよう<sup>よう</sup>です。も<sup>も</sup>と<sup>と</sup>の<sup>な</sup>名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>が「波平<sup>なみへい</sup>」

どお  
通り」だったのですが、1970年頃にサザエさんのお父さんの「波平」の顔を宣伝  
のためにつか  
うようになつたそうです。

(1024字)

(2021.11 Written by Masami KADOKURA)

<参考資料>

- ・「サザエさん」ウェブサイト

<http://www.szaesan.jp/>

- ・福岡市の「サザエさん通り」について

「早良区彩食 健美の玉手箱」ウェブサイト「サザエさん通り」

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/sawaraku/sawaraku-tamatebako/kankou/szaesan/index.html>

- ・東京都の「サザエさん通り」について

「エンジョイ！ SETAGAYA」ウェブサイト「サザエさん通り」

<https://www.kanko-setagaya.jp/?p=we-page-entry&spot=209550&cat=16306&pageno=3>

(2022.1.31 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この  
作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use  
this work, please indicate the source as in the example above.